

ベイタウンの 誕生日

幕張ベイタウンは今年で街開き10周年を迎える。今月は10周年記念特集としてベイタウン誕生の頃の様子を取材した。

トップページは「幕張ベイタウン誕生の瞬間」。最初の入居を1ヶ月後にひかえた平成7年2月17日(金)午前10:30、まだ完成直後の人気のない街で開かれた「幕張ベイタウン街開き式典」の様子を千葉県企業庁提供の写真で紹介した。

写真右：沼田千葉県知事(当時)も臨席し、まさに街開きが宣言されテープがカットされる瞬間。写真の建物は左が1番街、右が2番街。当時はここがプロムナード入り口で、京葉銀行もコロラドもまだ開店していなかった。



写真右：街開きが宣言され、バントワラーを先頭にプロムナードを歩き始める。写真左から建築家の箕原先生、渡辺先生、一人おいて3人目が沼田千葉県知事(当時)。バックはパティオス1番街。

写真左：平成7年1月、入居予定者に配布された街開き記念式典への招待状。たんねんに読んでみると、当時はまだベイタウンという言葉はなく、<幕張新都心住宅地>「PATIOS(パティオス)」という名称が使われている。



写真右：この開放感のある風景は街開き直後のパティオス5番街美容室前。富士見通り交差点から8・10番街方面を見たもの。写真の右に現在の公共駐車場がある。右に見えているのは10番街の予定地だがまだ工事中で建物がなく、空の広さが現在より遙かに広い。



写真左：当日のプロムナードの様子。写真の角度から5番街屋上近くから撮影されたものと考えられる。写真左、手前から4番街、2番街。プロムナード奥に見える白い三角屋根のテントが式典の本部。現在のオレアジのある場所に本部が置かれていたことになる。後ろに見えるビル群が新都心。



女性が語る 10年座談会

不便だった、何もなかった…
だけどなぜか楽しかった。

6つの番街だけが肩を寄せるように建っていた、ベイタウンの創生期の思い出を、95年入居の皆さんに語っていただいた。

【ベイタウンニュース編集部】

●日々移り変わる街の風景

旦 あの頃の風景というと、西部劇に出てくる街みたいでした。コンビニに行こうと思ってプロムナードに出ると、整然とした建物だけはあるけれど人っ子ひとりいない、風だけがピューッと吹き抜ける…みたいな(笑)

鈴木 うちの窓から見ると工事のおじさんたちが打瀬小の公園を造っているところで、「ああ、この街が始まるんだ」という実感がありました。

山北 入居すると次の番街(7～12番街)の工事が始まっていて、整地の土ぼこりはすごいし、トンカントンカン1日中ずっと工事の音がしていました。でも、いいこともあって、うちは5番街のコア側の角ですが、朝カーテンを開けると、窓全部に海が見えました。ワァ、気持ちいい!

そのうち、11番街が建ち17番街が建ち、今見えるのはマリノフォートとミラマールの間のちょこっただけ。

旦 うちもマリスタジアムの花火が見えなくなりました。楽しみにしていたのにね。

鈴木 娘と2年間アメリカにいて戻ってきたら、建物が増えタワーも二つになって浦島状態でした。1番街は埋もれてしまった感じがしました。

旦 埋もれるっていう感覚、わかる!入居当時は何もないところにデンとあったのが、どんどん囲まれて小さくなっていく感じですよ。

鈴木 絵本の「ちいさいおうち」みたいですよ。人口も倍増して「こんなに人がいる!」とびっくり(笑)

山北 まだマリデッキができていなくて、横断歩道を渡ると今のCPWと公園東の街のところが空き地で真っ暗でした。街の灯りの中に入るまで恐かったですよね。

鈴木 グランパティオス工事現場の塀に、打瀬小の子どもたちが皆でペンキを塗ったのですが、娘の絵が下絵のひとつとして採用され嬉しかったです。

旦 うちの犬を飼っているんですが、空き地がいっぱいあっていろんな所で遊べたのが、今は空き地がないなって感じますね。

【出席者プロフィール】(順不同)

河野悦子さん(2番街)

95年4月入居。7月に出産。駅から徒歩なのに予想以上に不便。生まれたばかりの双子の赤ちゃんを抱えて身動きがとれず、「どうしてこんなところに来ちゃったんだろう?」と思っていた。



旦 恵子さん(3番街)

95年3月11日入居。中3のお子さんは在籍していた高浜中にベイタウンから通い、下のお子さんは打瀬中初の1年生に。買い物の不便さを考えて入居の前年に車の免許を取得。

山北恵美子さん(5番街)

95年3月22日、地下鉄サリン事件の日に入居。テレビでサリンの事件の報道を気にしながらの引っ越しだった。入居前、江戸川区に1年暮らし、その前は4年間イギリスで暮らす。当時、お子さんは小1と幼稚園の年少さん。



鈴木能理子さん(1番街)

95年3月15日頃入居。京葉線開通前、TDL付近の戸建て住宅に応募し続けるが落選。数年間周到に準備して、パティオスに無事入居を果たす。当時娘さんは小2、息子さんはたった8人だった打瀬中3年生のひとり。

遠藤紀子さん(3番街)

95年3月3日入居。すぐに第2子妊娠でつわりがひどく、買い物・通院の不便さもあいまってマタニティブルー気味に。「駅から初めて家まで歩いたときに誰にも会わなかったのが印象的」と語る。



●お店がない、病院がない、交通の便が悪い

遠藤 交通手段は今のようバスもありませんでしたし、私は入居当時自転車も乗れなくて困りました。以前は自転車に乗る必要のない駅前に住んでいましたから。ここに来たら身動きできないことに気づいて、自転車を習って、車の免許も取りました。

河野 双子のどちらかが病気になると、横浜から実家の母に留守番に来てもらい、ベビーカーを押して花見川を渡った伊藤小児科に通ってました。

山北 耳鼻科も杉田さんしかなくて、朝行って診察券を出して、午後にもう一度行く。1日仕事でした。お店で覚えているのは、5番街のヤンマーが入居した頃は高級志向で、珍しいものはあったけれど高く日常生活には向かないなあ～という感じだったのが、途中から庶民的になって買い物がしやすくなって、よかった。

旦 7番街にあったスーパー「サン・ブルー」と経営が同じで、あちらがなくなったからヤンマーで庶民的なものをおくようになったらしい。

遠藤 以前は検見川浜のイズミヤに行っていたけど、最近全然行かなくなりましたね。今はカルフルとかイトーヨーカドー、買う物によってどこでも選べますから。

河野 ちょっと前まで新しいお店ができて、このお店なくなるといいなと思ってました(笑) 実際、「am.pm.」とか、「フライパン」とかなくなったお店も多い。ケー

キ屋さんもやっていけるのかと心配したけど今は増えてますよね。

山北 一番新しいケーキ屋さんがミラマールにできましたね。

●「パティオス」から「ベイタウン」へ

河野 新しいマンションに入った人と話すと、「じゃあ〇番街のところで」と言ってもわからない。前からいる人はだいたい位置関係はわかってますよね。2番街も、ファミリーマートのあるところとか説明しないとわかってもらえない。

遠藤 小学校の保護者会などで新しいマンションのお母さんに「3番街」って言ってもわかってもらえない。「小学校の隣りです」とか、「ヤックスがあります」とか説明しなくちゃいけない。ああ、そうなんだって。

旦 毎年すこしずつマンションが増えていくのを見ていると、〇番街って言われればわかりますよね。建物がたくさん出来てから初めて入居した人はわからないでしょうね。

山北 最初は「パティオス」って言ってましたね、この街のことを。途中で「ベイタウン」って看板ができて、あそこはベイタウンなんだ!って(笑)

旦 いつからか「ベイタウン」って言ってましたね。

河野 中学校の保護者会は「パティオスの会」ですよ。

山北 あれは中学校自体がパティオス(中庭)を持っているつくりだという意味からきているんですよ。

●子どもたちにとってはここが“ふるさと”

山北 私は中学生の女の子がいきなり自殺したというニュースを聞いてショックを受けたんです。自分の子どもはそんなことのない環境で育てたいと思って、ここならみんな一（イチ）から始まるからいいなと思って来ました。

実際、小学校も各学年1クラスずつしかないの、子どもも私たちも早く仲良くなりたい、みんなで何かしたいという気持ちが強かったですね。初代校長の溜先生も、学校を中心として街を作っていくんだという考えをもっていたので、余計拍車がかかったように思います。

河野 今は小学校も大きくなりすぎて、「みんなで何かをしている」という意識は希薄ですよ。お母さん同士、顔を知らないという人も多んじゃないかと思えます。

山北 あの頃は足りないもののほうが多いから、「病院どこ行ってます？」とか「習い事させたいんだけど」とか、情報交換しないと暮らしていけなかった。だから、みんなで一つになれた。創生期の熱気がありましたね。

旦 ベイタウンニュースの配布募集の記事を見て、10年前なら「は〜い！」って行っていたのに、最近熱がさめてきたというか。新しい街区の配布なら、そこに住む人がやればいいじゃない…みたいな気持ちになっているかも。

山北 人数が少ないと顔と顔が見える。「誰々さんとやったら楽しかったから、また

やりたいわ」というノリで、自然とできていた気がします。不便なこともあったけど、幸せな時期でしたね。

遠藤 ここに来る前の江戸川区では公立小への不信感が強くて、お受験当然の空気が。私はそれが嫌でボーッとしていても楽しく小学校時代が過ごせるんじゃないかと、新しい打瀬小学校に期待して来んです。長女は中学もここなので、小1から知っている顔もいっぱい。幼なじみとこの街で思い

出を共有して成長していけていいなど。

鈴木 うちの子も、友だちと小学校の頃の昔話をしては盛り上がっているみたいです。

山北 10年前、ここに来たとき小1と年少だった子どもたちがもう高1と中1。毎年、お正月には岐阜の実家に帰っていたのが、今年は子どもたちから「帰りたくない、ここで過ごしたい」と言われたんです。ここがふるさとになっているんですね。

【構成 / 佐藤】



1997年（平成9年）当時の打瀬小学校航空写真

ベイタウンをぶらぶら歩きます

マリンデッキを眺めながら、マリンデッキのなかった頃の風景を思い出したり、高く広々としていた空の広さの変わりようをはかたりしながら、無駄話をしたいとふと思って、ぶらぶら歩きます。

2月20日（日）午後1時頃、天気が良いればまずはマリンデッキの上から始めるつもりです。

ぶらぶら歩きですから、古い人も新しい人も、無駄歩きに耐えられる人なら大丈夫、のはず。

ベイタウンぶらぶら発起人 村岡英裕



1996年3月のベイタウン入口（現在マリンデッキのある地点）。建物は左が1番街、右が2番街。左の空き地が現在のセントラルパーク、右の空き地が現在の公園東の街。マリンデッキはこの横断歩道の上に来た。

CORE CALENDAR February 2月のコア

2/26
(土)

寺子屋工作ランド

「でんでん太鼓」、「竹トンボ」

時間：10:00～

会場：ベイタウン・コア 工芸室

2/27
(日)

第25回 ファツィオリを弾く会

時間：9:30～11:30

会場：ベイタウン・コア 音楽ホール

月に一度だけ、コア・ホールがベイタウンの皆様の音楽室に！！

ファツィオリのピアノを弾いたり、ヴァイオリンや他の楽器演奏、声楽、合唱など、どしどしお申し込み下さい。また、お気軽に聞きにいらして下さい。

申し込み締め切り日 2/20（日）

連絡先 阿曾 TEL&FAX: 211-0273

ベイタウン地区の「民生委員・児童委員」が17名に強化されました。

打瀬地区(610) 民生委員・児童委員協議会

ベイタウンには次々と新しい街区が増えつつあります。これに伴い、16年12月より民生委員・児童委員も6名が増員され、今後15名の民生委員・児童委員と2名の主任児童委員の陣容に強化されました。

民生委員・児童委員は、別記の様に「それぞれの担当街区」を受け持ち、主任児童委員は、担当区域を持たず、「打瀬全域の子供たち」に対応するものです。

具体的には、福祉に関する事（高齢者関連、子育て関連、障害者

関連、生活支援関連、その他）で

- 社会福祉制度やサービスについて、その内容や情報を皆さんに提供します。
 - 皆さんが抱える日常のさまざまな問題について相談にのりますし支援します。
 - 必要に応じ、千葉市など関係行政機関との調整役をします。
- なお、ご相談は、守秘義務に基づきその秘密は守られます。安心して、下記の担当にご相談ください。

委員名	委員の電話	担当街区	委員名	委員の電話	担当街区
梅田明子	211-0325	パティオス1, 2, 3, 4番街	須藤佳代	212-5019	ミラマール、サウスコート
大垣靖仁	276-3878	パティオス14, 公園西の街	旦 恵子	211-0189	パティオス7, 8, (パティオスエリスト)
奥貞喜子	274-7065	パティオス5, マリンフォート	西田のり子	211-0147	パティオス6, 11, 21
落合 清	211-0137	セントラルパーク東、パークタワー	花藤留美子	211-7740	パティオス18, (ファーストウイング)
柿原好子	211-1110	ミラリオ	濱 宏純	211-6288	セントラルパーク西、シータワー
角幡玲子	211-0571	パティオス15, 16, 17, 20	吉田ちづ	276-3537	公園東の街、(パティオス22)
金田寅雄	273-0887	アバンセ、(グランエクシア)			注：()は、17.3以降入居
川口正昭	211-6695	パティオス9, 10, 12, 13	西村侑身子	211-0298	主任児童委員 (全域)
倉田弘江	211-0170	GPエクシア、(シティーズフォート)	吉川伸子	272-6970	主任児童委員 (全域)

あなただけの理想の生活スタイルがきっとみつかる

日常がゆるやかに流れ、人とともに成長を続ける街、幕張ベイタウン。そんな街の海辺の近くにある都市機構のペット共生住宅「パティオス22番街」。

さわやかな汐風を感じながら、海と街と緑と、そしてペットと共に暮らす。今までになかったライフスタイルが発見できる「パティオス22番街」。

とっておきの“幕張ライフ”が楽しめる「パティオス22番街」が2月11日(金・祝)より先着順受付を始めます。

シングルの方からファミリーの方まで十分ご満足がいくよう1LDK～3LDKまでのタイプをご用意できる予定です。この機会にぜひ現地に足を運んで、あなただけの理想の生活スタイルを探してみませんか。きっとご満足いただけるお部屋が見つかります。

平成17年2月11日(金・祝)より現地先着順受付開始(全戸内覧できます)

3月中旬より入居可能ですので新生活の準備にはぴったりの時期です。

〈お問い合わせ・お申込みは現地案内所〉

幕張ベイタウンパティオス22番街(東館1階集会所)
TEL:043-212-8275
(申込期間中:
無休/午前10時～午後5時)
ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.ur-net.go.jp/patios/>



UR賃貸住宅だから、敷金以外の礼金・更新料は不要！保証人も不要！

先着順受付のため、現地先着順申込受付開始後は、ご希望の住宅が既にお申込みの場合もございますので、予めご了承ください。



ベイタウンキッズプロジェクト'05

ミュージカル「地球のこどもたちへ」の出演者募集!

ベイタウンキッズプロジェクトは、音楽やダンスを通じて地域交流を深めることを目的に2002年に始まりました。これまで2回のコンサートには延べ約300人の子供たちが参加し、共に舞台を創る喜びを分かち合ってきました。

今回の『地球のこどもたちへ』は、「自分たちの住む地球を守りたい」というメッセージをテーマに、森を舞台として物語が繰り広げられます。

開催日時 7月31日(日)(予定)
場所 幕張総合高等学校文化ホール(予定)
取材 キッズプロジェクト'05実行委員会
後援 ベイタウン自治会連合会・コミュニティコア研究会

募集内容

パーティーシーンに登場する「風の妖精たち」小学生 40人(男の子もふるって参加してね!)
演奏内容:歌 リズム楽器 リコーダー

参加者説明会

3月12日(土)13:30から、コア講習室にて説明会に参加できない方はご連絡ください。
問合せ先 安永 Tel&Fax271-5260
(電話の場合は11:00～15:00、または夜間)

新春恒例もちつき大会



1月9日(日)コア中庭でベイトウンならではの新年行事「もちつき大会」が行われた。この大会は青少年育成委員会が中心となり、ベイトウン各学校の保護者会、先生方、自治会や民生・児童委員の方々など多くの人の協力で行われ、今年は6回目(コアで行われるのは3回目)になる。育成委員会代表の君島さんは「今年は以前までのグループ単位の参加から個人の参加にしたので、見知らぬ人と交流が多くなってよくなりました。ま

た今回は餅を『食べる』だけでなく、『自分でついで丸める』ことで子どもが作業する経験をもてるようにもしました。『地域の子どもは地域の大人で見守っていく』考えて、これからも続けたい」と話す。

大会開始時間は11時だったが、10時前には整理券を貰うためにコア中庭に長蛇の列ができ、用意した券800枚はすぐに無くなった。参加者の多くは幼稚園児や小学生だが保護者も多く来ていた。もち米は110キロ用意

し、6つの臼で800～1000人分をついた。焼き芋も500本近くが次々と焼かれ同時販売されていた。もちつきは蒸し上がった餅米を臼に入れ、ある程度まで大人が練ってつき、その後順番に子どもが交代で杵でつく。重い杵によるけ勢い余って臼を叩いて削ってしまうこともあるが、普段出来ない経験に親子一緒に興奮して熱が入っていた。つきあがると自分で餅を丸め、のり・しょうゆ・きなこをつけて食べる。綺麗に丸めるのは餅が手にくっついてなかなか難しいようで、どの子も悪戦苦闘しながらとりあえず形を作り、我先にきなこをたっぷりつけているのが微笑ましい。

たくさんの方がごった返す中で、一際目立つ黒ジャージの集団があった。打瀬中学校の陸上・バドミントン・野球部の中学生たちが顧問の先生と来ていたのだ。バドミントン部の山田先生は「中学生はなかなかこういう場に出てこないから連れてきた。地域と関わるきっかけになればいいと思う」。陸上部顧問の渡邊先生は「ベイトウンの住民じゃないのに第1回からこのもちつき大会に参加してるんだよー」と笑っていた。私が打瀬中に通

っていた4、5年前、もちつきはまだ中学の校庭で行われ、渡邊先生は今と変わらずはりきっていたのを思い出した。あの頃の参加人数は400人程度だったそうだから4年で参加者は倍以上に増えたことになり、街が大きくなっているのを改めて実感した。

米が臼から飛び散らないように練ってつくるのは難しいが、慣れた手つきでこなしていたのは6番街の角幡さん。暑い日差しに汗をかきながら、子どもに杵を渡すとき一人一人の肩に手を置いてニコニコ話しかけていた。知らない目上の人と話す機会の少ない子どもたちにとって、気軽に話しかけて貰えるのは緊張するが嬉しいことだと思う。角幡さんだけでなく手伝っていた多くの人が忙しいにも関わらず子どもの目線で親しげに話しかけていた。最初に紹介した「地域の子どもは地域の大人で見守る」という君島さんの言葉が思い出された。こんなふれあいの場があることで、ベイトウンの子どもたちは地域の人の温かさに触れながら豊かに成長できるのだろう。

【富川】

シニアクラブ「いも煮会」

去る1月22日(土)コア中庭ではシニア70数名の熱気があふれた。「新春いも煮会」と名付けたベイトウンシニアクラブ恒例の新年会だ。

「いも煮会」はご存知の方も多と思うが東北地方の豊作を祝う秋の行事のひとつ。今回で第3回を数えるベイトウンの「新春いも煮会」はシニアクラブ伊藤さんと落合さんが、千葉中央卸売市場の秋祭りで食べたいも煮の味が忘れられずはじめた

のこと。ベイトウンではシニアクラブ女性メンバーの特製だ。

このいも煮会、毎年趣向を変えたイベントも楽しんでいる。グランドゴルフ、フォークダンス。そして今年は「幕張メッセ文化の会」メンバーによる盆踊りのデモンストレーションと指導だ。たくさんの方が参加して盆踊りを楽しんだ。みなさん本当にお元気で。

【ベイトウンシニアクラブ投稿】



海浜打瀬小学校でも「もちつき」

海浜打瀬小学校では1/14(金)中庭で1年生を対象に「もちつき」を行った。海浜打瀬小学校の地域交流授業は昨年12月の同じく1年生を対象にした「昔遊び」につづくもの。

「今日はみなさんのおもちつきに、地域のおじさんがお手伝いに来てくださいました。伊藤さんと小畑さんです」と先生が紹介すると、子どもたちからは「知ってる～。コマ回しのおじさんだよ」

小畑さんは前に住んでいた幸町の自治会で何度も会長をつとめた経験があり、「もちつき大会」は慣れたもの。「幸町時代には250kgをついたこともある」という。そうでなくとも、60代になる伊藤さん小畑さんの年代では、大晦日にもちをつくるのが家族の年中行事のひとつ、子どもの頃から見よう見まねで覚えたという腕前は確かなものだ。

子どもたちに「もちつきはやったことがあるかい」と聞くと「コアの中庭でやったことがあ

る」と自慢げに話す。1/9に行われた育成委員会主催のもちつき大会のことらしい。

昔は大家族の家で行ってきたもちつきの行事が今では地域や学校で「ふれあいの場」をつくりだす行事に役目を変えて生き続けている。

【松村】



重い杵を持ち上げる伊藤さんと一年生

パイタウンに ペットクリニック 3月オープン!!

待望の



青木獣医師ご挨拶

いつでも気軽にどんなことでも相談できる、パイタウンのホームドクターを目指して。

人とおなじく長寿社会になってきているペット達の健康を子供の頃からおじいさんおばあさんになるまで、ペットオーナーである方々と共に支えていきたい。それが私たちの願いです。病気の診療はもちろんですが、食事、栄養のアドバイスからトリミング、ホテルなど幅広い分野にわたり、ペットとオーナーのトータルケアをこころがけ、幸せなペット共生のパートナーとしてお手伝いしていききたいと思います。

パイタウンペットクリニックはこんな動物病院です。

- ① ペットのホームドクターを目指しています
- ② 会員様の意見を病院運営に反映させます
- ③ 病気の予防や治療についてわかりやすく説明します
- ④ カルテとレセプトを公開します
- ⑤ 笑顔で対応します



- 住所
美浜区打瀬三丁目6番
パティオス22番街 西棟1F
- 開業予定日
平成17年3月13日
- 連絡先
開業準備室 043-211-4110
((有)自由時間内 担当 志賀)

